本市における主な社会教育課所管事業の概要

【成人教育】

○はたちのつどい(令和5年から名称を変更)

- ・参加者が中学3年生の時の先生方からのビデオメッセージが好評。
- ・対象者の7割以上が参加。(R4は523人中397人が参加 75.9%)

○いしかり市民カレッジ

- ・いつでもだれでも学ぶことができ、市民自らが講座を企画したり教えたりできる新しい学びの形として平成21年から市民と市教委が協働で運営している。
- ・今日までに249講座、596回開催し、21,161人が受講している。

【家庭教育】

○講座

- ・昨年は「不登校を考える～当事者の声から～」と題して、市から引きこもりサポート事業を委託されている特定非営利活動法人ジェルメ・まるしえの理事長や実際に不登校を経験した方からの生の声、また、スクールソーシャルワーカーから現場の声を聞いた。

○いしかりふれあいDAY

- ・市PTA連合会と協働で始まったこの活動は毎月第1、3日曜日をいしかりふれあいDAYと位置づけ、家庭でふれあう時間を増やそうという目的で行っている。
- ・全家庭に配っている啓発チラシには、各単位PTA・家庭ごとルールを記載し、冷蔵庫やトイレ等、目につく場所に掲示して日々取り組んでもらっている。

【学校支援】

○地域学校協働本部活動

- ・放課後の居場所づくり「あい風寺子屋教室」は、紅南、花川南小学校で実施している。
- ・地域の方を含むボランティアとともに百人一首やけん玉、紙芝居などを行っている。

【情操教育】

○スタートプログラム おしゃべランド

- ・市内の全小学1年生を対象に劇団の俳優やナレーターが演劇風に絵本の読み聞かせをしている。
- ・子どもたちの反応が良く、先生方からも続けてほしいという声が多いため、15年以上続けている。

○セカンドプログラム The Music

- ・主に中学1年生を対象に、ジャズの鑑賞、生徒参加による体験セッションを行っている。

【文化振興】

○石狩市民文化祭

- ・今年度で 67 回目の歴史ある芸術文化活動の発表の場である。
- ・コロナの影響もあり来場者は若干減少しているが、出演希望者は多く、各団体が発表の場を求めていることがわかる。

○Kitara ファーストコンサート

- ・さっぽろ連携中枢都市圏の小学 6 年生を対象に、札幌コンサートホール Kitara で札幌交響楽団の演奏を鑑賞する事業。
- ・移動時間を要する厚田学園及び浜益小学校は授業コマの中で対応できないので不参加としている。

○ロビー展 ロビーコンサート

- ・市役所本庁舎ロビーで活動の発表の場として、月 1 回程度、展示は 1 週間、コンサートは昼休みの時間に実施している。(写真や水彩などの展示、合唱や器楽演奏などのコンサート)

【高齢者教育】

○石狩市シニアプラザはまなす学園

- ・市内在住の 60 歳以上を対象に 1 年間学園生として、様々な講座やクラブ活動を行っている。
- ・学園生は新たな知識を身につけ、新たな趣味を見つけ、新たな仲間と楽しく活動している。

【団体支援】

○社会教育関係団体登録

- ・特定の要件を満たした団体（サークル）を登録し、公共施設の使用料を減免している。

【施設管理】

○社会教育施設管理

- ・石狩市公民館（学び交流センター）、分館 2 か所、ふれあい研修センター4 か所、美登位創作の家を管理している。

この他、当市の社会教育は市民図書館、文化財課、厚田及び浜益生涯学習課が担当しているが、スポーツは保健福祉部スポーツ健康課、青少年教育は保健福祉部子ども政策課が担当しており、部局をまたいで存在している。